

# 要望書

## 四国遍路の世界遺産登録について

令和3年3月

「四国八十八箇所霊場と遍路道」

世界遺産登録推進協議会

徳島県

高知県

愛媛県

香川県

## 四国遍路の世界遺産登録について

### 【要望事項】

四国一円に点在する札所を巡る巡礼として、地域社会と密接に関わりながら発展し、今に続く四国遍路の文化的伝統を表す札所や遍路道、道標等の文化遺産を、世界遺産暫定一覧表へ追加すること。

また、世界遺産暫定一覧表の改定に向けた取組みを加速化すること。

- 徳島・高知・愛媛・香川の四国4県に点在する多数の札所を巡る四国遍路は、最終目的地がなく、周回することができるという特徴のある巡礼で、その道筋には札所や遍路道、道標等が遺存し、巡礼を支えるお接待などの慣習が今も地域の中に息づいています。
- 四国遍路は、古くから四国の地と密接に結び付き、巡礼者と地域の人々の相互に救いをもたらしながら存続しており、札所や遍路道等は、地域社会に支えられて発展した、世界でも稀な、多様な個人を救済する信仰の形を伝える証拠として顕著な普遍的価値を有することから、世界文化遺産にふさわしいものと考えています。
- 四国では、平成20年の国の審査結果を受け、平成22年3月に産学民官が協力して「『四国八十八箇所霊場と遍路道』世界遺産登録推進協議会」※を設立し、資産の保護措置の検討や顕著な普遍的価値の研究、受入態勢の整備や普及啓発活動などに取り組んできました。その積み重ねの中で、この度、顕著な普遍的価値の研究の中間報告をとりまとめたほか、史跡に指定された札所や遍路道の統一的な保護を図るための4県共通の指針を策定しました。

※令和3年4月1日から「四国遍路世界遺産登録推進協議会」に改称予定

- さらに、専門家の意見等をふまえ、四国遍路の多様で広がりのある文化の重要性を示し、不動産だけにとどまらない無形的な価値や地域とのつながりなどをイメージできる概念を示すために、資産の名称を「四国八十八箇所霊場と遍路道」から「四国遍路」に改めたところです。
  
- 今後とも、四国4県をはじめ地域における関係団体が一丸となり、学術的観点に立った顕著な普遍的価値の研究をさらに進め、それを証する資産の保護に積極的に取り組み、四国遍路という多様性に富む文化の継承に努めてまいります。また、地域社会と深く結びつきながら存続してきた四国遍路の特性を踏まえ、魅力的なまちづくりや地域の活性化につながるよう、地域コミュニティと共にある持続可能な文化遺産を目指してまいります。
  
- つきましては、我が国を代表する巡礼である四国遍路の世界遺産登録について、世界遺産暫定一覧表への追加記載を行うよう要望します。  
また、世界遺産暫定一覧表の改定に向けた取組みを加速化することを要望いたします。

「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会

会 長	佐伯勇人（四国経済連合会会長）
徳島県知事	飯泉嘉門
高知県知事	濱田省司
愛媛県知事	中村時広
香川県知事	浜田恵造